

鎌倉古道を歩く その8 クラブはんどれっど歴史散策 参加10名

台風が去りつばめが南に帰るころだそうです、やっと秋らしくなり古道歩きも「藤沢・渡内から鎌倉・上町屋」へと向かいました。村岡城址公園には坂東八平氏の祖・平良文の館があったといわれる。武士が権勢を誇り室町戦国時代を通して幾度も戦場になりましたが、やがて徳川の治世になり村岡の7村（柄沢、渡内、高谷、弥勒寺、小塚、宮前）は藤沢宿の助郷となったそうです。町屋の真言宗・泉光院では一同が山門から入り宝篋印塔から吹き抜けてくる風に打たれ、すべての罪が消えうせ身も心も清らかな仏の心が生じると言われましたがさてどうだったでしょうか？



上…村岡城址公園、忠魂碑は東郷吉太郎海軍中將による碑文選書、平良文から出た渋谷氏が「薩摩東郷氏の祖なり」と言われる由縁でもある
 下左…泉光院の山門をくぐると左に宝篋印塔、右に徳本行者真筆宝号塔がある、その奥に本堂
 下右…泉光院本堂には阿弥陀三尊仏、阿弥陀如来、観音菩薩、勢至菩薩がお祀りされている